

こんなときは

新潟日報紙「健康」欄に読者の質問に答える形で連載

Q：ホルモン値低く不妊に悩む

夫 33 歳、私は 30 歳で結婚 8 年目ですが、不妊で悩んでいます。夫の精液検査結果は正常です。私の方は現在クロミッド・HCG療法をしております。排卵は起きるようですが、排卵日の尿検査、血液検査のホルモン値が低いのですが、ホルモン値を正常にする良い方法はないでしょうか。

(長岡市・H子・会社員)

A：治療は適切、医師を信頼して

多胎妊娠というと、普通は双胎(そうたい)(双子)のことを言っていることが多いが、中にはひん品たい胎と言って三つ子であったり、要胎(四つ子)、周胎(五つ子)のこともあり妊婦さんにとっては大変なことである。大きなおなかを抱えながら「先生、双子ではないでしょうか？周りの人がおなか大きいので双子ではないかと言うんです。」「大丈夫ですよ、心配ありません。自分が太ったんではないですか？」こんなやり取りの中で、安心する人もいれば、がっかりする人もいるが、双子をはじめ多胎妊娠は多くの問題を持っていて、決して好ましいことではないのである。

一般に多胎妊娠の頻度の概算法としては<ヘリンの法則>と呼ばれる $1/80^{n-1}$ (nは胎児数)の式がはんよう汎用されているが、実際には人種による差異が大きく、我が国の双胎率は150~160の分娩に1回で、三胎は約1万8000